

全国環境連

6月号

令和7年通常総会を開催

全国環境連は、去る6月18日に千代田区の「海運クラブ」において令和7年通常総会を開催し、令和6年度事業報告、決算報告及び令和7年度事業計画(案)、予算(案)を可決承認した。現役員の任期満了に伴う役員改選では、理事24名、監事1名を選出し、引き続き開催した理事会において河野正美会長が退任、新会長に大川和彦氏が就任した。

終了後は、環境省環境再生・資源循環局浄化槽推進室沼田正樹室長より「浄化槽行政の現状と課題」の講演、質疑応答が行われた。

その後、懇親会を開催し、環境再生・資源循環局 角倉一郎次長や松崎裕司廃棄物適正処理推進課長ほか環境省の方々にご臨席いただき、和やかな雰囲気情報交換等が行われ有意義な時間となった。

通常総会の開催

○日時：令和7年6月18日(水) 16時～

○会場：海運クラブ

○会員数及び出席会員数：会員11、出席会員11

○出席理事数：22名

○概要：事務局より、全会員が出席しており定款に定める総会の成立を報告。議長に河野会長を選出し、次の各議案について審議し第1号議案から第5号議案は原案どおり可決承認された。

第1号議案 令和6年度事業報告承認の件

第2号議案 令和6年度決算関係書類及び監査報告承認の件

第3号議案 令和7年度事業計画(案)承認の件

第4号議案 令和7年度収支予算(案)承認の件

第5号議案 役員改選の件

第1回臨時理事会の開催

○日時：令和7年6月18日(水) 16時30分～

○会場：海運クラブ

○理事数及び出席理事数：理事24名中23名出席

○概要：先の総会において新たに選出された理事による理事会が開催された。

1. 会長、副会長、専務理事、常任理事の選出について
議長より、総会で理事が選任されたので本案を上程する旨の説明があり、理事の互選により下記の者が選任された。

会長：大川和彦

副会長：岩本晋時、山田幹二

専務理事：十文字伸幸

常任理事：菊地豊樹、穴南幸司

2. 連合会の運営等諸般について

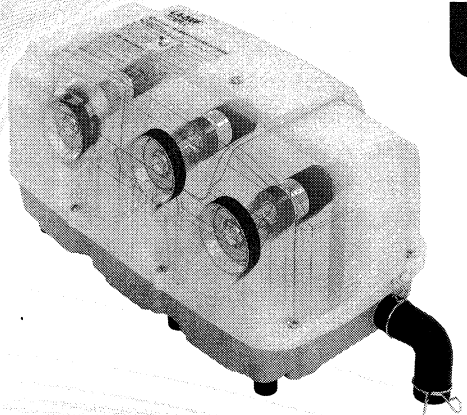
- (1) 環境省要望案及び政府に対する要望決議案について
大川環境政策委員長より、6月5日開催の委員会において作成した両案について説明があった。環境省要望案については一部修正、政府に対する要望決議案については原案とおり了承された。

- (2) その他



150L・200L ブロワがリニューアル

リニア駆動フリーピストン方式採用で
消費電力削減・高耐久を実現



NEW
メドーブロワ®
LA-150F/LA-200F



低消費電力
最大約19%消費電力を低減(当社比)
電気代節約、CO₂削減に貢献



長寿命
可動部品はピストンのみ
リニア駆動フリーピストン方式を採用



安心
サーマルプロテクタ搭載
異常加熱すると自動停止
(温度が下がると自動復帰)



メンテナンスが容易
フィルタ、ピストン交換は
ネジを緩めるだけの簡単作業



低作動音
屋外、夜間運転を考慮した静音設計

製品外観



リニア駆動フリーピストン方式

長寿命 突然停止しない らくらくメンテナンス ●メドーブロワ®

修理研修受付中/デモ機依頼お気軽に!

技術で、人を想う。

日東工器株式会社

メドー事業部 リニア販売部

〒146-8555 東京都大田区仲池上 2-9-4 Tel:03-5748-5521 Fax:03-3754-0258

www.nitto-kohki.co.jp



ブロウ検索

河野正美 会長退任あいさつ

令和7年度の総会をもって全国環境連の会長を退任することとなりました。会員の皆様には任期中の4年間にわたり、多大なご支援、ご協力を頂きましたことに心よりお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

さて、任期中を振り返ると、令和8年度に迫った汚水処理施設の概成後に向けて、更には世界的な脱炭素への取り組みの中で、我々業界にも大きな変革がせまられてきた4年間ではなかったかと思っています。環境連顧問に就任頂いた元(公財)日本環境整備教育センター顧問の国安克彦先生からは、「汚水処理施設の概成後に採算性があまりにも悪い集合処理から個別処理への切り替えが順調に行われると、浄化槽基数が大幅に増加する可能性がある。但し、労働者人口が大幅に減少する中で、維持管理の需要にこたえるためには今のやり方を変えて、労働生産性を大幅に向上させる必要がある」という指摘も頂いています。カーボンニュートラル、持続可能な循環型社会の構築に向けた取り組みは、すべての業界に課せられた責務になり、その取り組み方によって企業や業界が評価される時代になりました。日常の業務における脱炭素への取り組みは、すでに始めていただいていると思いますが、食糧生産の持続性を確保するため、し尿・汚泥に含まれる窒素、リンを再利用する手法については、市町村との連携をさらに深め、先進事例を参考に行動に

移していく必要があります。

また、近年の汚水処理施設の広域化や共同化の流れ、ウォーターPPPによる新たな官民連携への動きについてですが、合理化特別措置法により、下水処理場や管路施設の維持管理業務を行いながら、既存のし尿・浄化槽汚泥の収集運搬業務を行っている我々にとっては大きな問題となります。そのため、一般廃棄物の適正処理を持続させていくためには、地元の、我々一般廃棄物処理業者が新たな官民連携に主体的に参画する必要があります。

し尿、浄化槽汚泥収集、維持管理を生業としてきた我々は、業務量が減少する中、関連する業務を行いながら、住民の生活環境の保全に邁進してきました。今後もその責務はしっかりと果たしながら、持続可能な地域社会の構築のために、我々に与えられた使命をしっかりと自覚し、行動を起こしてまいります。

結びになりましたが、大川会長のもと、全国環境連の結束がさらに深まり、そして皆様の企業が益々ご繁栄することを祈念して退任の挨拶とさせていただきます。



大川和彦 新会長就任あいさつ



このたび、全国環境連の会長に選任され、大変光栄に存じますと共に、その重責を非常に大きく受け止めています。微力ではありますが、連合会の発展と社会への貢献を最優先に考え、会員の皆様とともに新たな未来を築いてまいります。

現在、地球温暖化の進行を始め、ウクライナや中東における軍事衝突に起因する物価高騰、頻発する異常気象による大規模災害の発生に加え、超少子高齢化による担い手不足など、我々業界を取り巻く環境は、複雑に絡み合い先送りできない状況となっています。

こうした多様な課題に対応するためには、国・地方自治体・企業・住民がそれぞれの立場で責任を持ち、共通認識のもとに取り組むことが不可欠です。全国環境連は、全国組織とし

てのネットワークと地域の現場に根ざした経験を最大限に活かし、直面する諸課題の解決に努めていきます。

さらに、我々が担う一般廃棄物処理は少しでも滞ることが地域の環境悪化に直結する業務であり、会員の皆様の事業の安定が適正な廃棄物処理を維持し地域環境の保全に繋がると考えます。令和8年に迎える汚水処理の十年概成のその後を見据えて、浄化槽を中心とする持続可能な社会の実現のために、未来を担う若い世代を始め様々な視点を元に、事業継続のための創造的な提言をしていきます。

また、訪日外国人が急増する中、日本が誇れる先進的なトイレシステムを世界に発信し、我々が培ってきた事業が、次世代の若者や外国人にとって「有意義で、やりがいがある分野である」と認識され、参入に繋げることに挑戦していききたいと考えています。

終わりに、歴代会長の基本方針を継続し、持続可能な未来に向けた歩みを進めてまいりますので、引き続き、皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

MURITA × KAO

共同開発

臭気・衛生対策製品

花王が開発した液をモリタエコノス独自技術で効率的に噴霧！

ポンプオイルに添加するだけ！



菌・ウイルス除去に

ミラクルキヨラTM

菌・ウイルスを99%除去※
エタノール不使用で引火の心配なし！

※すべての菌・ウイルスを除去するわけではありません。

生ゴミ臭対策に

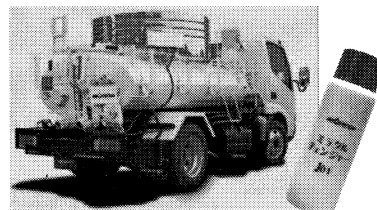
ミラクルキヨラTM

専用香料で不快な悪臭を爽やかな香りに！

不快臭対策に

ミラクルチェンジャーTM

不快な悪臭を心地よい香りに変化！



環境保全車両の開発・製造・販売

株式会社モリタエコノス

Webサイトはこちら



このQRコードはアクセス解析のためにCookieを使用しています。
アクセス解析は匿名で収集されており個人を特定するものではありません。
この機能はCookieを無効にすることで、Cookieを用いた収集を拒否することができます。
お使いのデバイスのブラウザの設定をご確認ください。
QRコードは(株)デンソーウェアの登録商標です。

令和7年度 事業計画

〔自 令和7年4月1日〕
〔至 令和8年3月31日〕

I 総論

全国環境連は、定款に定める事業に取り組むとともに、生活排水対策の推進、とりわけ良質な水環境の確保のため、「全国環境連ビジョン」の下で当業界に係る諸課題に積極的に取り組み、会員の事業活動の推進に寄与する。

II 事業関係

1. 下水道整備に伴う合理化(補償等)対策などについて

合特法の趣旨を踏まえ、一般廃棄物処理業の適正な運営が継続的かつ安定的に確保されるよう、また、汲み取り業務が減少している中において、災害時に必要となるバキューム車の確保など以下の点について、引き続き市町村に対し積極的な働きかけを行う。

なお、単県協同組合は、市町村と折衝に当たる合理化対象事業者と連携して合理化事業の獲得をしていく心構えが大切であり、合理化対象事業者への支援を積極的に行う。

- (1) 合特法の趣旨の尊重及び法の遵守
- (2) 合理化事業計画の策定促進
- (3) 代替業務及び補償に関する協定、覚書の締結を推進

2. 新規許可対策について

一般廃棄物処理業の許可は、通常の営業許可とは性質を異にし、自治体が策定する一般廃棄物処理計画に基づき、当該自治体の裁量権の行使と深い関わりを有している。

当該裁量権の行使は、公益目的の達成を図るものであると同時に、その代行業者たる事業者の円滑、安定した事業遂行に多大な影響を及ぼすものである。

更なる新規許可は、財政の効率性や需給調整の計画適合性に重大な支障をきたすものであり、合特法の趣旨に照らしても絶対に阻止する必要がある。

また、事業転換対策の運用、活用を踏まえつつ、許可に関わる行政裁量と新たな法理の創成について引き続き研究する。

3. リサイクル事業の推進について

し尿汚泥のリサイクルでは、バイオガス化が活用され、メタンガスを発生させる際に生成されるスラリーを水処理するため、高額な水処理装置と維持管理費を要していることが多い。しかしながら、水処理せず農地還元することで、生産される米に付加価値をつけるなど、地域住民への環境問題の意識づけと同時に地域振興力を高めている事例もある。し尿処理業者は処理だけでなく生産者側の立場に立ち、もしくは生産者と連携し、し尿処理を考えることが重要である。

今年度も各種事例等の視察、調査などに継続して取り組み、最適なし尿汚泥等のリサイクルを通して、地域のエネルギー供給、食糧供給及び振興等に貢献する。

4. 公共施設の新しい民間委託方式について

公共浄化槽(市町村設置型浄化槽)の設置・維持管理・運営等についてPPP(官民連携)による新たな手法の導入検討が国の方で進められている。その中でも特にウォーター PPPについて詳細を把握し我々業界がその波に乗り遅れることが無いように調査研究する。

5. 安全衛生対策について

私たち事業者は、労働基準法及び労働安全衛生法を遵守し、労働災害防止のため快適な職場環境の実現と労働条件の改善を通じて、労働者の安全と健康を確保する必要がある。また、事業場の安全水準の向上や労働災害の減少を期するため、年間目標、月間目標等、計画的に安全衛生活動を実施し、労働災害の潜在的な危険性を低減するとともに、以下の点に取り組みつつ、労働災害防止のための危険予知活動等の日常的な安全衛生活動を引き続き推進する。

- (1) ヒヤリハット、KYT、指差し呼称、ゼロ災運動など安全活動の実施
- (2) 労働災害防止対策の強化

6. 情報の収集・提供及び広報について

(1) 情報の収集、提供

当業界関係情報を積極的に収集し、会員等へ提供することにより事業の円滑な推進に資する。併せて関係業界はもとより他業界団体及び行政機関等との連携を密にした情報交換を行う。

(2) 広報

機関誌及びホームページ等を活用し、全国環境連の取り組みや活動状況を積極的に広報する。

7. 全国大会等の開催について

全国環境連の活動状況等の報告並びに浄化槽に関する知識の啓発普及の場として、全国大会を開催する。

また、関係省庁、関係国会議員及び関係団体等との情報交換等の機会として新春懇談会を開催する。

(1) 第21回全国環境連全国大会

日 時：令和7年10月24日(金)

会 場：岡山プラザホテル(岡山県岡山市)

テーマ：「原点から学び、つなげるサステナビリティ
～不易実行～」

(2) 新春懇談会

日 時：令和8年1月14日(水)

会 場：海運クラブ(東京都千代田区)

8. 研修会等の開催について

全国研修会を開催し、会員の自己研鑽等を支援する。

日 時：令和7年5月14日(水)

会 場：海運クラブ(東京都千代田区)

9. 調査研究について

事業支援等に必要な知見を習得するため、必要に応じて模範施設等を視察する。

10. 事業推進部会による特定事業の実施について

全国環境連の実行部隊として内外にアピールできる事業に取り組み、広報をスムーズに行うことができるように導いていくための各事業を実施する。

【国内・災害対策事業】

- ・甚大な災害が発生した場合に、国との調整や県組合への支援を行い全国環境連の存在意義を示していくために活動する。
- ・災害対応のシステムを利用し、発災時に速やかなネットワークを構築する。

【国際貢献事業】

- ・環境省脱炭素社会実現のための都市間連携事業を企業と連携し推進する。

【ICT事業】

- ・ホームページの充実を図り、情報・活用・支援を目的とした広報価値を創造する。

【企画調整事業】

- ・被災地の復興見学等の視察研修を提案企画
- ・勉強会、交流会の提案企画

11. その他

- (1) 災害時に必要となるバキューム車の確保を検討する。
- (2) 人口の減少、高齢化時代を踏まえた生活排水処理施設の効率的かつ適切な整備に協力、支援する。

Ⅲ 組織運営等関係

1. 全国環境連ビジョンの実現に向けて

平成27年度末に策定した「全国環境連ビジョン」(今後の在り方を考える～明日からの未来へ～)を踏まえ、以下の目標の実現に向けて引き続き積極的に取り組む。

- (1) 全国環境連の存在意義を高め、社会に貢献し、評価される魅力ある団体となる。

- (2) 「経営の継続性」に応える事業転換の促進と新規事業獲得の推進を図る。

2. 組織の充実・強化について

- (1) 各委員会、事業推進部会の活動
理事会の諮問を応じて協議する。

- (2) 青年部活動の充実

青年部主導による研修会開催及び施設視察等を実施するとともに全国環境連事業活動を積極的に支援、協力する。

また、人は有用な経営資源であると同時に財であるという視点の下、自ら次世代を担う人材として自己研鑽等に努め、併せて、青年部活動の充実に資するため理事会及び青年部長会議等を開催し、協議、意見交換等を行う。

- (3) 会員の拡充

全国環境連は、自ら魅力溢れる団体を目指すとともに、非会員自らが全国環境連への参加を希望されるような環境づくり活動を推進する。

3. 各種会議の開催について

当連合会の円滑な運営と業務推進を図るため、以下の会議等を開催する。

なお、総会及び理事会は、定例開催するもののほか必要に応じて臨時に開催する。

- (1) 通常総会

日 時：令和7年6月18日(水)

会 場：海運クラブ(東京都千代田区)

- (2) 定例理事会

・第1回(R7.5.14) ・第2回(R7.7.23)

・第3回(R7.9.17) ・第4回(R7.11.26)

・第5回(R8.1.14) ・第6回(R8.3.18)

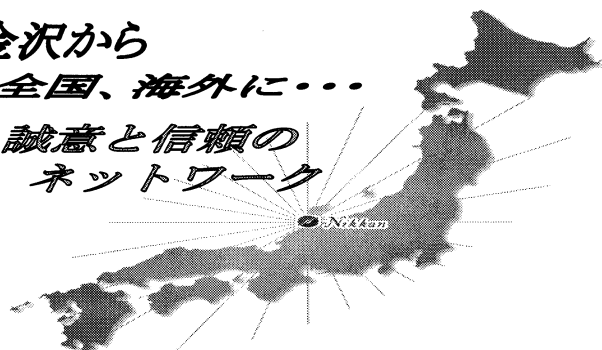
- (3) 各委員会、事業推進部会

各委員会及び事業推進部会において協議する。

- (4) 事務局長会議

未定

金沢から
全国、海外に・・・
誠意と信頼の
ネットワーク



■取扱商品

エアーポンプブロー ガス検知器・送排風機
電動工具・制御機器・記録紙 水中ポンプ・陸上ポンプ
配水管清掃機器・薬剤 浄化槽関連部品・FRP補修剤
給水ポンプ・薬注ポンプ 各種産業用ベルト・ホース
マンホール・その他
水質検査器・理化学機器 浄化槽用消毒薬・維持管理剤

水処理関連機器の総合商社

即答即配システムが当社のモットーです。



株式会社 日環商事

Nikkan

本 社 〒920-0333 石川県金沢市無量寺5丁目75番地

TEL:076-268-1771(代) FAX:076-267-5348

FAX専用 フリーダイヤル 0120-617-718

E-mail:info@nikkan-shoji.co.jp

http://www.nikkan-shoji.co.jp

四国営業所 〒769-0103 香川県高松市国分寺町福家甲196番地1-101

TEL:087-813-7621 FAX:0120-617-718

九州営業所 〒812-0861 福岡県福岡市博多区浦田1丁目21号-7

TEL:092-558-4828 FAX:0120-617-718

令和7年青年部通常総会を開催

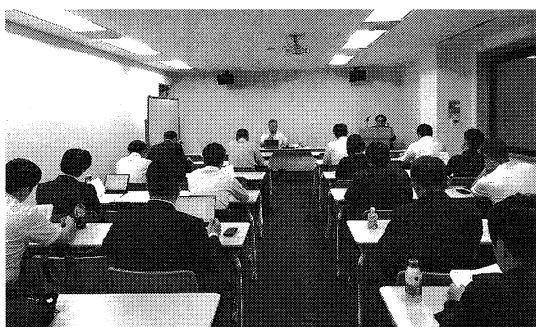
全国環境連青年部は、去る6月19日にワイム貸会議室お茶の水において令和7年通常総会を開催し、各県組合青年部より約30名が出席した。

田中唯介青年部長の開会挨拶、大川和彦会長の来賓挨拶の後、田中部長を議長に選出し、次の各議案について審議した。

各議案は原案のとおり可決承認された。

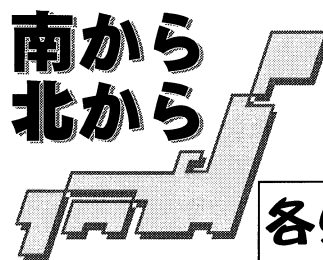
- 第1号議案 令和6年度事業報告承認の件
- 第2号議案 令和6年度収支決算・監査報告の件
- 第3号議案 会費の決定額(案)の件
- 第4号議案 令和7年度事業計画(案)承認の件
- 第5号議案 令和7年度収支予算(案)承認の件
- 第6号議案 役員の一部変更の件

総会終了後、引き続き部長会議を行い今年度の事業について協議した後、大川会長も参加して懇親会を行い和やかな雰囲気の中親睦を深めた。



事業推進部会報告

6月18日(水) 14時より海運クラブにおいて開催され、令和6年度事業報告、令和7年度事業計画、新年度の組織体制について協議した。



各県組合報告

鹿児島

▼鹿児島県環境整備事業協同組合 令和7年度通常総会

令和7年5月22日、鹿児島サンロイヤルホテルにおいて令和7年度通常総会が開催された。

吉田副理事長の開会のことば、宮地理事長の挨拶に引き続き、永年勤続功労者9名の表彰があり、その後、前島実鹿児島県土木部次長、松里保廣公益財団法人鹿児島県環境保全協会理事長から来賓祝辞をいただいた。

議事に入り、(有)大口・伊佐清掃社 湯田猛議長のもと、令和7年度事業計画及び収支予算決定の件など5つの議案につき審議を行い、すべて原案通り可決決定された後、地元代議士の衆議院予算委員会での発言に対する組合の対応も協議し、梶井理事の閉会のことばで総会を終了した。

総会終了後、同ホテルで意見交換会が開催され、宮地理事長の挨拶で開会した。まず、ご来賓を代表して鹿児島県知事(土木部次長代読)から、地域の生活環境の保全や公衆衛生の向上への大きな貢献に対する敬意等のお言葉をいただいた後、鹿児島県議会浄化槽議員連



通常総会(永年勤続功労者表彰)



意見交換会

溶存酸素計 DO計

ガルバニ式センサー交換タイプ

DO-11Z



測定範囲

DO : 0.00~20.00mg/L
飽和率 : 0~200%
水温 : -5.0~50.0℃

pH/ORP計

pH/ORP計

KP-11Z

pH計

KP-11F



測定範囲

pH : 0.00~14.00 pH
ORP : 0~±1999mV(KP-11Zのみ標準)
温度 : 0.0~50.0℃

計量法型式承認
本体:第SS242号
電極:第S251号

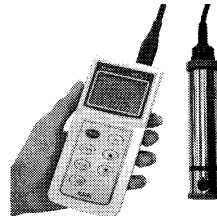
MLSS/界面計

MLSS/界面計

SS-10Z

MLSS計

SS-10F



測定範囲

MLSS : 0~20000mg/L
水深 : 0.00~5.00m
(SS-10Zのみ)

塩素イオン計

測定レンジ自動切替機能付

CL-11Z



測定原理

固体膜塩素イオン電極法
測定範囲 : 0.1~2000mg/L

その他の営業品目
濁度計・色度計
UV式COD計・導電率計

KRK 笠原理化工業株式会社

<https://www.krkjpn.co.jp>

〒340-0203 埼玉県久喜市桜田2丁目-133-8

TEL.0480-38-9151(代) FAX.0480-38-9157

盟の大久保博文議員から挨拶をいただいた。また、交換会では、同議員連盟の日高滋鹿兒島県議会議員や園田豊副議長にも挨拶をいただくなど、県、県議会議員、関係機関・団体など多くの参加者との有意義な意見交換の場となり、迫田副理事長の締めで盛会のうちに終了した。

熊本県

▼令和7年度第6回理事会

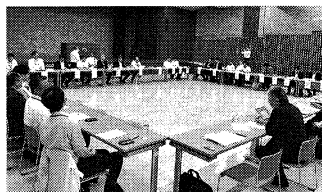
5月9日(金)13時30分より組合会議室にて開催。次の議案等の審議及び報告を行った。



1. 全国環境連第21回全国大会(10/24岡山市)の件
2. 組合員の新規加入の件
3. 令和6年度し尿収集量・投入量実績調査の件
4. 環境大臣表彰推薦の件
5. 事業委員会関係
6. 全国環境連関係
7. 熊本県との災害時支援協定関係
8. (公社)熊本県浄化槽協会関係
9. 熊本県環境事業団体連合会関係
10. 合理化対策委員会関係 他

▼令和7年度「大規模災害時支援活動協定」意見交換会

熊本県土木部主催で5月19日(月)10時30分より熊本県庁にて開催。専務理事及び事務局員が参加し、次の報告及び意見交換が行われた。



1. 協定締結団体からの取組状況紹介
2. 各協定内容及び組織連絡体制の確認
3. 意見交換 他

▼令和7年度熊本県災害廃棄物処理対策連絡協議会 情報共有会議

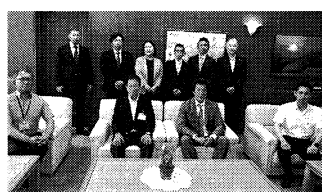
熊本県環境生活部循環社会推進課の主催で5月21日(水)10時00分より熊本県庁にて開催。今回が第1回会議であり、専務理事及び事務局員が参加し、次の説明、報告及び意見交換が行われた。



1. 協議会設置経緯及び過去災害の広域連携事例、既存連携スキームについて
2. 関係団体情報共有事項について
3. 構成員間の意見交換
4. 今年度の協議会事業等について 他

▼宇城地域市町村への訪問

5月23日(金)に宇城市及び宇城広域連合を訪問し、本年2月の首長選により選出された新市長と面会のうえ、役員による挨拶等を行った。



福岡県

福岡県環境整備事業協同組合連合会は、令和7年5月30日、ホテルニューオータニ博多(3階 ローズルーム)で第38回通常総会を開催。田中副会長の開会の辞で始まり、永野会長の挨拶の後、議長に永野会長、書記に永野(将)理事と松本理事を選出し次の順で各議案の審議を行った。



第1号議案 令和6年度決算関係書類承認の件

第2号議案 令和7年度事業計画(案)並びに予算(案)承認の件

第3号議案 役員補選の件

提出議案すべてが原案通り可決決定され、大山副会長の閉会の辞で第38回通常総会の全日程を終了した。

総会終了後、17時30分から同ホテル(3階 芙蓉の間)で懇親会を開催した。

懇親会は、高橋副会長の開会の辞で始まり、永野会長の挨拶に続き、お忙しい中ご臨席を賜った来賓を代表して3名の方に祝辞をいただいた。

○ 福岡県 知事

服 部 誠太郎 様

代読 福岡県 副知事

生 嶋 亮 介 様

○ 福岡県議会 議長

公益社団法人 日本獣医師会 会長

蔵 内 勇 夫 様

代読 福岡県議会 副議長

中 尾 正 幸 様

○ 自民党福岡県支部連合会 次期会長

松 本 國 寛 様

懇親会は、自民党福岡県支部連合会 会長 原口剣生様の乾杯で始まり、国会議員、県議会議員、県、関係団体など多数の方に出席をいただき盛会となり藤井副会長の閉会の辞で終了した。



山口県

▼第1回理事会開催

山口県環境整備事業協同組合は、去る5月23日(金)に事務局会議室(山口市)において、第1回理事会を開催した。

(1) 組合第35回通常総会について

議案書(案)に沿って、全項目について説明があり、全てにおいて承認を得た。当日の役割者選任や出席者・来賓についても共有がされた。今回は招待した5市町全から首長ご本人、議会議長ご本人より出席いただけることとなった。

(2) 山口県への要望書について

山口県環境生活部に提出する要望書の内容について説明があった。浄化槽法の改正に注視し、8月頃での提出に向けて準備を整えていくこととした。

(3) その他

・第61回全国環境連中国地区協議会通常総会について、スケジュール、役割分担等が説明された。参院選と開

催時期が重なる可能性が高いため、招待する来賓について協議がされた。

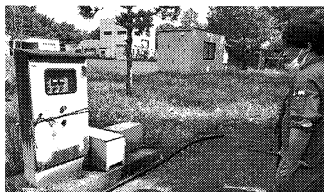
- ・組合主催のウォーターPPP勉強会が7月8日(火)に山口市の湯田温泉ユウベルホテル松政で開催される旨の説明があった。
- ・災害派遣トイレネットワークプロジェクトに山口県内の自治体が参加しており、現状報告がされた。
- ・改正浄化槽法の施行を見据え、組合員に向けた「電子化への対応状況の確認について」のアンケートの中間報告がされた。
- ・今年度の組合主催の電気系保全技術講座の申込状況が報告された。今年度開催の3講座(計6回)全てを年度始めに案内しており、すでに定員に達した講座もあることが報告された。今年度は以下の講座が開催される。受講料は全て組合より補助。

- ① 中大型浄化槽の電気保全技術講座(基礎編)
計2回。6月23日(月)・24日(火)、26日(木)・27日(金)
- ② 中大型浄化槽の電気保全技術講座(応用編)
11月26日(水)・27日(木)
- ③ 小型(家庭用)浄化槽の修繕技術講座
計3回。10月8日(水)・9日(木)、15日(水)・16日(木)、21日(火)・22日(水)

島根県

- 5月15日(木)に令和7年度島根地区水質保全管理業務に関する連絡会議を開催した。

松江地区現場業務責任者の佐次良輔氏、浜田地区現場業務責任者の大久保宜和氏、事務局が出席し、先に示されていたネクスコ側からの成績評定通知書をもとに改善点などを話し合った。会議後、ネクスコ松江事務所



の村岡施設課長への表敬を行い、松江管内の管理対象施設の視察を行った。

- 5月16日(金)に松江エクセルホテル東急において、第50回通常総会を開催した。

総会には、来賓として阪口島根県環境生活部参事にお出でいただき、「島根県の廃棄物行政を取り巻く現状と課題」について講演をしていただいた。講演後、会場からは県と市町村の役割分担についての質疑があり、阪口氏からは昨年度3月に締結した災害協定のスムーズな運用を図る上から、県はあくまでも市町村からの要請があつてから対応するのが原則であり、そのため、日頃から県・市町村・組合、保全協との綿密な連携が必要との認識が示された。

総会の議事では、社会情勢の変化に対応し、組合に関する事業を適切に遂行していくため、新たに副理事長ポストを理事会に設けることとし、新役員が下記のとおり選出された。

理事長：米山二郎

副理事長：小倉 剛、富田成徳

理事：上里康弘、山崎寿典、長谷川亮輔、柳樂幸子、森口善宣

監事：大久保敦司、澤田光男

このほか、本年9月20日(土)に当組合創立50周年記念事業が松江市玉造温泉にて開催されることが正式に発表、了承された。



長野県

5月23日(金)長野市のホテル国際21に於いて第2回理事会及び第52回通常総会を開催した。総会には組合員29名、来賓11名、計40名の出席があつた。

議題については以下の通りである。



臭気改善で住み続けられるまちづくりを

衛生車・吸引車の臭気対策に

デオマジック®VC1 オイル

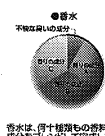
DEOMAGIC® VC1 Oil

デオマジック®VCオイルは糞便臭を甘い香りに変化させる潤滑油です。作業員様や地域住民の皆様には好評です。

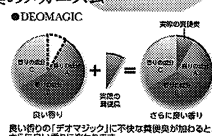
- お 得！ 脱臭剤が不要になります。
- 簡 単！ 今お使いのオイルと同様に定期的な交換だけ。
- 新技術！ 不快臭を取込んで良い香りに変える技術。

お問い合わせ先

東邦車輛株式会社 横浜部品営業所
〒230-0003
神奈川県横浜市鶴見区尻手3丁目2番43号
TEL: 045-575-5241 / FAX: 045-575-3271
Email: deomagic.vc1@shinmaywa.co.jp

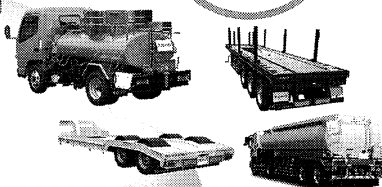


消臭のメカニズム



DEOMAGIC® VC1 Oil

デオマジック®VC1 オイル



全国ネットの特装自動車の総合メーカー

東邦車輛株式会社

営業本部	TEL: 045-575-9901	信越営業所	TEL: 025-283-6571
直販部	TEL: 045-575-9902	中部支店	TEL: 052-218-5123
直販部直販課	TEL: 045-575-9253	金沢営業所	TEL: 076-223-1191
北海道支店	TEL: 011-633-7101	近畿支店	TEL: 0798-52-2100
東北支店	TEL: 022-782-5040	東邦車輛サービス	TEL: 072-433-2401
仙台部品出張所	TEL: 022-782-5065	中四国支店	TEL: 082-890-2882
北関東支店	TEL: 0276-89-1551	九州支店	TEL: 092-441-1951
茨城営業所	TEL: 0298-22-5569	福岡部品営業所	TEL: 092-441-0634
関東支店	TEL: 03-3843-3351	南九州営業所	TEL: 099-252-2070

- ・令和6年度事業報告及び決算関係書類、監査報告承認について
- ・令和7年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認について
- ・役員改選について

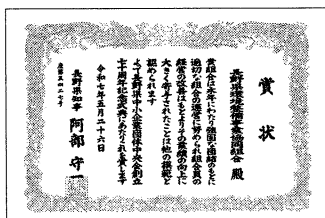
その後の臨時理事会において新理事長、副理事長が以下の通り選任された。

理事長：堀内健吾

副理事長：松尾茂樹

懇親会では、組合員や賛助会員、ご来賓の方々と情報交換や交流を深め、盛会のうちに終了した。

また、5月26日(月)長野市のホテルメトロポリタン長野に於いて長野県中小企業団体中央会の第70回通常総代会及び創立70周年記念式典が開催され、河野正美前理事長が長野県知事組合功労者として、長野県環境整備事業協同組合が優良組合として表彰された。



- ・関東中部ブロック協議会の報告

▼第51回通常総会

去る、5月23日(金) 15時30分よりホテル東日本宇都宮にて開催。

諏訪副理事長の開会の辞で始まり、菊地理事長の挨拶後、衆議院議員 茂木敏充様の秘書増山様・栃木県議会議員 日向野義幸様・栃木県環境森林部 資源循環推進課課長補佐(総括) 中村秀悦様・栃木県中小企業団体中央会 事業推進部 鈴木俊浩様から来賓祝辞を頂いた。来賓の方々が退席された後、白井議長のもと議案の審議を行い、第1号議案から第4号議案について原案のとおり承認され、第5号議案の役員改選に於いては9名の理事・2名の監事が選出された。

その後、臨時理事会を開催して新三役を下記のとおり選出した。

理事長：菊地豊樹

副理事長：北川典生、大竹 浩

全ての議案を終了し、大竹副理事長の閉会の辞で第51回通常総会は終了した。

夕刻より同ホテルにおいて懇親会を開催。菊地理事長の挨拶後、参議院議員 高橋克法様よりご祝辞を頂き、会員同士の情報交換や交流を深めた。



栃木県

▼令和7年度 第1回理事会

去る、5月9日(金) 14時より組合会議室にて開催し、下記の審議及び報告を行った。

- ・第51回通常総会について
- ・全国環境連各委員会報告
- ・栃木県委員会報告
- 研修委員会・政策懇談会
- ・青年部活動報告

発行者

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-24 AKビル5階B



全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会
会長：大川和彦

TEL 03-5207-5795 FAX 03-5207-5796

年間購読料 2,200円 1部 220円 消費税含

し尿収集容量表示計 KANTARO® 環太郎

“環太郎”は収集量の正確な計測と、料金の明瞭化でし尿処理業務の最適化を推進します。

簡単操作で 速くて 正確 そして 安価!

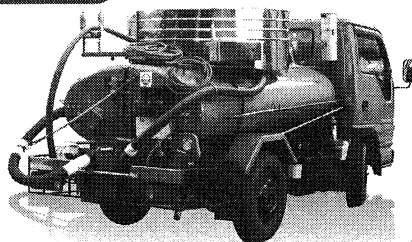
特許：第2736403・第5742875

◆ 取り付けが簡単!

◆ 安価!

◆ 高精度!

シンプルな構造で、空気/液体分離用タンクや計量器のロードセルは不要。出張取り付けも可能です。



実績24年 ありがとうございます



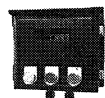
アイシー測器株式会社

本社/〒564-0063 大阪府吹田市江坂町2丁目14-46

TEL.06-6384-1543(代) FAX.06-6338-8557

IC Measuring Instruments Co., Ltd.

URL <http://ic-sokki.sakura.ne.jp> E-mail ic-sokki@arion.ocn.ne.jp



収集量表示計